第 50 号　　令和元年(2019 年)12 月 12 日発行

ひのし青少年委員だより

編集：日野市青少年委員の会　発行：日野市子ども部子育て課　TEL０４２（５８５）１１１１　内線２５１９

ことしも大盛況！

第29回 みんなの遊(ゆう)・友(ゆう)ランド 報告

「どんな人(ひと)とも一緒(いっしょ)に、同(おな)じ遊(あそ)びができたら、きっととってもたのしい！」

６月１６日（日）、市民の森ふれあいホールにて『みんなの遊・友ランド』が開催されました。このイベントは、障がいの有無にかかわらずみんなが楽しく遊べるイベントです。

２９回目となる今年は、子どもたち・保護者・ボランティア・スタッフ、総勢６００人近くもの参加者が集まった大イベントとなりました！

当日は開会式から始まり、「じゃんけん列車」で遊びがスタート！じゃんけんに勝ったり負けたりしながら参加者同士が列車のようにつながっていき、イベント序盤からたくさんの人とふれあうことができました。また、次の「爆弾ゲーム」では、じゃんけん列車でつながった人たちと一緒にハラハラドキドキしながらも遊びを楽しみました。

そして…待ってました！”大きなふうせん”の登場です！筒状にふくらませた大きなふうせんにまたがってぴょんぴょん跳ねたり、しがみついたり、ふうせんプールで飛び跳ねたり、寝転がってみたり…自由にいきいきと遊ぶ子どもたちの姿がありました。

また、会場には子どもたちが描いた絵が展示されており、どれもアッと驚くような才能あふれる素晴らしい作品ばかりでした。

休憩時間にはおやつタイムとしてお菓子も配られ、会場内にはさらにたくさんの笑顔が広がりました。

最後は同じ場を共有した参加者が一つになってキンダーポルカを踊りました。少し恥ずかしがる様子を見せながらも、みんなで楽しく踊ることができました。

汗をかくほど遊び、あっという間に閉会式をもって今年の『みんなの遊・友ランド』は終わりました。

このイベントを支えてくださった多くのボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

協力団体　ーみんなの遊・友ランドはたくさんの人の力でできていますー

日野市少年学級親の会・都立七生特別支援学校・都立八王子東特別支援学校・日野市社会福祉協議会・東邦歯科医療専門学校・明星大学きらきらボランティアセンター・中央大学ボランティアセンター・NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA・日野市ジュニアリーダー・市内中学校ボランティア部・中学生・高校生・大学生・育成会など、地域のみなさん

ジュニアリーダー講習会

ジュニアリーダー講習会は、小学５年生から中学３年生を対象として日野市子ども部子育て課が主催している事業です。約６０人の受講生が、大学生や高校生を中心としたリーダーが企画する講習会を通して、地域で活躍できる人材を育成することを目的としています。そして、青少年委員も講師、サブ講師として講習会に大きく関わっています。今回は、夏キャンプの様子を紹介します。

意外と難しいテント設営

夏キャンプは、日野市八ヶ岳高原大成荘で過ごす２泊３日のプログラムです。

初日は、自分たちが泊まるテントの設営から始まります。テントを支えるロープの張り具合を調節しながら建てました。また、キャンプ中の食事は自炊が基本。不慣れな包丁に苦労したり、なかなか薪に火が付かず困ったり…。その分、出来上がった食事はいつもの何倍もおいしかったはず！

かまどでの調理に一苦労

２日目には、清里周辺のハイキングに出かけました。地図を頼りに西へ東へ。親切なリーダーたちは、たとえ道が間違っていても教えてくれません。受講生同士、力を合わせてゴールを目指しました。夜は中学生がリーダーと一緒に企画したキャンプファイヤーです。しかし、残念ながら大雨が…。ジュニアリ―ダー講習会では「雨合羽を買うと雨が降る」といういわれがあるようですが、今年はだれが雨合羽を新調したのでしょうか。そんな雨にもめげず、会場を室内に移してのキャンプファイヤー。中学生はレクリーダーとしての一歩を、小学生は一緒に活動してきた中学生が「リーダー」として頑張る姿を見ながら共に成長していきます。

手をつないで…ゴール！

天候による急なプログラムの変更等もありましたが、３日間のキャンプを通して、仲間とのきずなを深め、大きな成長とスキルアップができました。

講習会では、青少年委員の企画として９月に「ハンドロウル・ボッチャ体験」、１０月に「市内ウォークラリー」を実施しました。また、１２月には相模原市のふるさと自然体験教室「やませみ」を利用して冬キャンプを行いました。

キャンプファイヤー

ジュニアリーダー講習会の受講生募集は、毎年４月に「広報ひの」でご案内しています。半年間の野外活動を中心とした１０回程度の講習会です。ぜひ参加してみませんか？

青少年委員活動紹介

―多摩地区総会―

５月１８日（土）、多摩地区の青少年委員が一堂に会する多摩地区総会が行われました。加入地区を順番に回って開催される今年は、国分寺市に集いました。総会の中では各市を紹介する事例発表会があり、今年担当だった日野市は市内の様子と青少年委員の活動について発表しました。また、特別支援学校に長く勤務されている先生の講演も聞くことができ、実践現場から「子どもたちを見つめる、小さいことにキリキリしない大人の視点」を教わった気がしました。

―自然体験広場自主企画― 「たたみのコースターを作ろう」

８月１０日（土）、自然体験広場の自主企画として「たたみコースターを作ろう」を実施しました。
当日は１５名の方にご参加いただき、畳のコースターを作成しました。
作り方は簡単、畳の一角にアクセントを貼り、四辺を千代紙で包み込むように貼りつけて出来上がり♪
参加者のみなさんが思い思いの千代紙を選び、畳の角と縁に色柄を合わせて貼りつけ、素敵なコースターが出来上がりました。

拡大すると…

―あきなかだ― ＠仲田の森蚕糸公園内自然体験広場

毎年１１月に開催されるあきなかだでは、青少年委員がドラム缶でできた窯を使ってピザ焼きコーナーを実施しています。窯で焼くピザはふっくらしていて絶品！来場者からは大変好評なコーナーです。

しかし今年は生憎の雨であきなかだが中止。来年こそは秋晴れの中みんなでおいしいピザを食べながらたき火を囲みたいですね。

青少年委員担当地区　みどころ紹介　～七生中地区～

七生中地区では、年間を通して様々な学校行事や地域の催し物が行われています。
その中で今回ご紹介したいのが《ななお BON まつり》です。

このお祭りは、地域の住民が集まって実行委員会を立ち上げ、手作りで運営、開催しているお祭りです。まだ４年目のお祭りですが、今年も会場には多くの地域の方々が来場し、その数は公式発表で３，７７０人となりました。

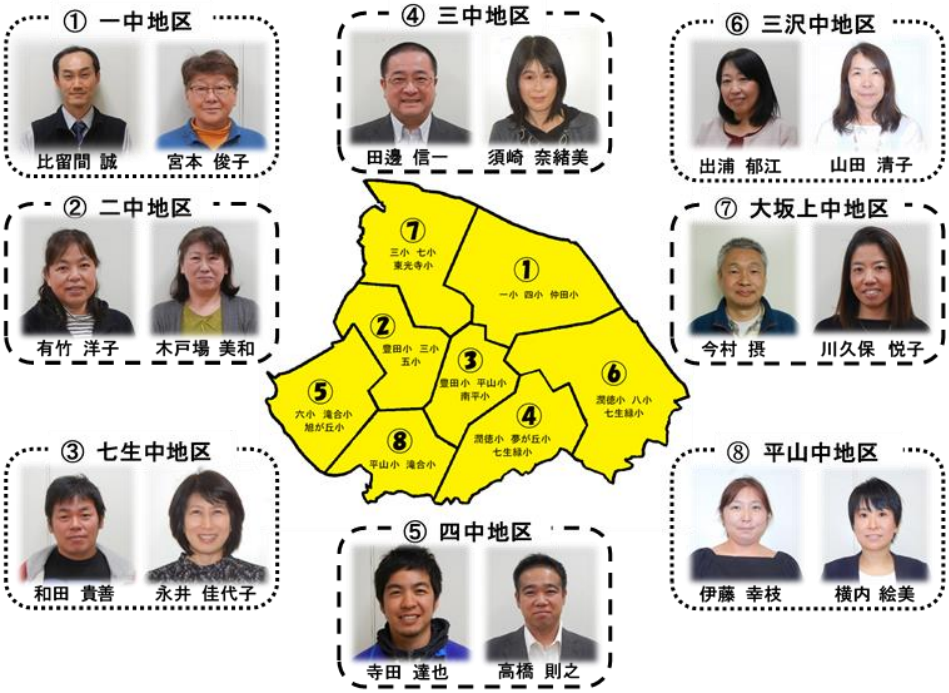
会場となった南平体育館の駐車場の真ん中には櫓（やぐら）が組まれ、『炭坑節』や『東京音頭』はもちろん、最近流行りのニュー盆踊り『ダンシング・ヒーロー』などで老若男女が BON 踊りを楽しみました。また、会場内では地域で活躍する各団体が飲食やゲームなどのお店を出店し、出店数は約３０店舗という賑わいでした。

この七生中地区きってのお祭りには永井委員と和田委員も実行委員の一員として参加しています。また、他地区担当の青少年委員メンバー、そして普段から共に活動をしているジュニアリーダーのメンバーも BON まつりのお手伝いに駆けつけ、ななお BON まつりを一緒に盛り上げてくれました。

和田実行委員長（左）

お祭りの様子

こんにちは 青少年委員です！



青少年委員とは？

日野市青少年委員の設置に関する条例に基づき、市長より委嘱されている委員です。各中学校地区に２名ずつ委嘱され、各地域で青少年の健全育成に関わる活動を幅広く行っています。年代や職業、子どもたちと関わるバックグラウンドはさまざまですが、子どもとの活動の中で得意分野やネットワークを活かし、地域と行政のパイプ役として子どもたちのふれあいや遊びのきっかけづくりを心がけて活動しています。